

評価の内容（申請資料に基づき、次の事項を確認している。）

1. 評価対象建築材料

評価の対象としたトップライトは、一般的な環境における庁舎等の屋上に単体で設置するもので、ガラス等を採光部に用いた小規模の既製金属部材による製品（開口部は最大2,000mm角または、長辺が3,000mmまでのもの）とし、30分以上の耐火性能を有するものを対象としている。

また、耐火性能の無い、透光性の合成樹脂系成形ドーム等を持つ製品であっても、下部に網入りガラスを用い、30分以上の耐火性能を有するものは評価の対象としている。

ただし、大型のアトリウムや、特別の形状を持つ特注品及び上部に人が乗ることを想定したものは対象としていない。

2. 品質・性能等

- 1) 規定された主要資材の材質及び製造メーカーから申請品の製造工場への納入ルートを確認している。
- 2) 下記の品質・性能を確認している。また、耐風圧性能、気密性能、水密性能及び断熱性能については、実施要領に規定する試験機関等による試験結果を確認している。

項 目		品 質 ・ 性 能			
種類・材質	形状	・角ドーム ・丸ドーム ・四角錐 ・切妻 ・片流れ ・アーチ ・フラット			
	付 帯 品	水切、結露受、額縁等が必要に応じて取り付けられる。			
	アルミニウム合金 押出形材	材 質	JIS H 4100 (2015) 「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するもの。		
		表面処理	JIS H 8602 (2010) 「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜」に規定する種類のB種としている。		
	ステンレス鋼板	JIS G 4305 (2015) 「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304 及び SUS430J1L としている。			
	副資材	アルミニウム板	材 質	JIS H 4000 (2014) 「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するもの。	
			厚 さ	枠・かまち等に用いる場合は、1.5 mm以上としている。	
			表面処理	JIS H 8602 に規定する種類のB種としている。	
		鋼 板 等	材 質	補強材、力骨、アンカー等は、亜鉛めっきなどの接触腐食の防止処置を行ったもの、またはアルミニウム合金製としている。	
		ステンレス鋼板	材 質	JIS G 4305 に規定する SUS304 及び SUS430J1L としている。	
表面仕上			No. 2B 又は HL としている。		
合成樹脂系成形材		耐久性を有し使用箇所に適したものとしている。			
気 密 材	耐久性を有し使用箇所に適したものとしている。				
小ねじ類	ステンレス製としている。				
品質・性能	製品の寸法・精度	寸法部位	寸 法	許容差 (単位 mm)	
		枠の内法寸法 高さ及び幅	2.0m未満	±1.5	
			2.0m以上 3.5m未満	±2.0	
		枠の相対する 辺寸法の差	2.0m未満	2 以下	
			2.0m以上 3.5m未満	3 以下	
枠の見込み寸法	120mm 未満	±1.0			
性能	耐風圧性	耐風圧等級	S-5	S-6	S-7
		耐風圧区分	2400 P a	2800 P a	3600 P a
		1) 加圧中破損がない。 2) 無目・方立がある場合は、そのたわみ率が1/150以下としている。 3) 除圧後、枠及び戸の部材、金具、その他に機能上支障がない。			